

資料2 : R5.10.11

未定稿

令和4年度 障害福祉に関するアンケート調査 報告書

令和5年●月
佐倉市 福祉部 障害福祉課

令和4年度 障害福祉に関するアンケート調査 概要

(作成) 障害福祉課 施策推進班

① 調査の目的

令和6年度以降を計画期間とする、障害者計画、障害福祉計画及び障害児福祉計画の策定にあたり、障害児・者等の心身の状況、生活の状況やサービスの利用意向等を把握する必要があるため。

障害者計画 ……障害者基本法第11条第3項に規定される市町村計画
障害福祉計画 ……障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律第88条に規定される市町村計画
障害児福祉計画……児童福祉法第33条の20に規定される市町村計画

② 調査対象者と調査方法

(調査対象者)

身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳の所持者

(調査方法)

抽出調査(層出抽出法による)

各障害者手帳の所持者を母数とし、次の階層に区分し無作為で抽出

階層 ①18歳未満の各障害者手帳の所持者

②18歳以上の各障害者手帳の所持者

調査対象者数 2,500人 (内訳:① 300人 ② 2,200人)

③ 調査期日 令和5年2月7日(火)~2月28日(火)

④ 調査方法 対象者へ郵送により調査票を発送
(回答方法) 郵送または Web による回答

⑤ 回答数 回答総数 1,147(45.9%)
うち郵送回答 1,013(88.3%)
Web 回答 134(11.7%)
有効回答 1,112(44.5%)
無効回答 35(※集計不可回答)

(回答内訳)

	R4.3.31	構成比	調査対象	有効回答数	回答率
身体障害	5,035	63%	1,575	692	43.9%
知的障害	1,121	14%	351	208	59.3%
精神障害	1,835	23%	574	212	36.9%
合計	7,991	100%	2,500	1,112	44.5%

障害福祉アンケート集計結果

1 このアンケートにお答えいただくのはどなたですか。(障害別)

○「本人」が65.1%、「本人の家族」が34.1%となっており、「家族以外の介助者等」は0.8%と少ない。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
あなた	519	39	166	724	65.1%
あなたの家族	168	167	44	379	34.1%
家族以外の介助者、支援者	5	2	2	9	0.8%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

2 あなた(対象者)の性別をお答えください。(障害別)

○「男性」が53.4%、「女性」が46.1%となっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
男性	356	134	104	594	53.4%
女性	332	74	107	513	46.1%
どちらとは言えない	3	0	1	4	0.4%
無回答	1	0	0	1	0.1%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

3 あなたのお住まいの地区をお答えください。(障害別)

○「志津地区」が39.5%、「佐倉地区」が27.1%、「白井・千代田地区」が19.6%等となっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
佐倉地区	168	67	66	301	27.1%
白井・千代田地区	139	34	45	218	19.6%
志津地区	277	83	79	439	39.5%
根郷地区	72	22	18	112	10.1%
和田・弥富地区	27	1	1	29	2.6%
無回答	9	1	3	13	1.2%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

4 令和5年1月1日現在のあなたの年齢をお答えください。(障害別)

○身体障害者は「60歳代」以上、知的障害者は「18歳以下」、精神障害者は「30歳代～50歳代」が多くなっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
18歳以下	20	86	4	110	9.9%
18～20歳代	4	43	21	68	6.1%
30歳代	13	29	43	85	7.6%
40歳代	22	24	64	110	9.9%
50歳代	49	19	43	111	10.0%
60歳代	105	4	22	131	11.8%
70歳代	263	1	7	271	24.4%
80歳以上	214	1	6	221	19.9%
無回答	2	1	2	5	0.4%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

5 あなたがお持ちの障害者手帳についてお答えください。

6の結果をご参照ください。

6 あなたは、どのような障害がありますか。<複数回答>(障害別)

○身体障害者は「肢体不自由」、「内部障害」、知的障害者は「知的障害」、「発達障害」、精神障害者は「精神障害」、「発達障害」が多くなっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
視覚障害	45	3	2	50	2.7%
聴覚・平衡機能障害	59	6	1	66	3.6%
音声・言語・そしゃく機能障害	41	7	2	50	2.7%
肢体不自由(上肢)	114	7	2	123	6.7%
肢体不自由(下肢)	283	9	4	296	16.2%
肢体不自由(体幹)	53	7	0	60	3.3%
肢体不自由(移動機能)	256	8	6	270	14.8%
内部障害(1~7以外)	191	2	5	198	10.8%
知的障害	8	176	8	192	10.5%
発達障害(自閉症・アスペルガー症候群など)	8	89	53	150	8.2%
高次脳機能障害	22	2	4	28	1.5%
精神障害	8	1	167	176	9.6%
難病(特定疾病・小児慢性特定疾病)	49	8	2	59	3.2%
その他	54	12	14	80	4.4%
無回答	27	1	3	31	1.7%
合計	1,218	338	273	1,829	100.0%

「その他」の内容

・眼科、皮膚科等 ・感音性難聴障害 ・失語症 ・疾病による右上肢軽度機能障害(7級) ・右手小指、中指著しい環指機能障害 ・両下肢軽度機能障害(6級) ・変形股関節症 手術 左右人工が入っています ・腰、足しびれ 痛い ・関節リウマチ ・脳梗塞 ・体幹機能障害 ・左半身麻痺 ・アトピー、喘息 ・心臓機能障害(17) ・腎臓機能障害(12) ・直腸機能障害(4) ・膀胱機能障害(2) ・人工肛門 ・ダウン症(3) ・知的障害 ・ADHD ・場面緘黙症、学習障害 ・認知症(2) ・てんかん(6) ・パニック障害 ・統合失調症 ・不安障害 ・うつ病 ・躁うつ病 ・双極性 ・メンタル ・悪性リンパ腫 ・C型肝炎 ・パーキンソン ・胸椎形質細胞腫瘍 ・感電体質 ・味覚障害 ・本能性振戦

7 あなたは、障害支援区分の認定を受けていますか。(障害別)

○いずれの障害においても、「受けていない」が一番多い(訓練等給付や障害児通所支援は障害支援区分の要件なし)。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
障害支援区分1	28	0	4	32	2.9%
障害支援区分2	21	11	4	36	3.2%
障害支援区分3	2	10	9	21	1.9%
障害支援区分4	15	12	2	29	2.6%
障害支援区分5	7	6	2	15	1.3%
障害支援区分6	4	12	0	16	1.4%
受けていない	523	130	161	814	73.2%
無回答	92	27	30	149	13.4%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

8(1) 食事を自分でできますか。(障害別)

○「自分でできる」が約8割、「部分的に介助・支援が必要」、「全面的に介助・支援が必要」が約2割となっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
1.自分でできる	590	149	169	908	81.7%
2.部分的に介助・支援が必要	53	50	34	137	12.3%
3.全面的に介助・支援が必要	33	9	2	44	4.0%
無回答	16	0	7	23	2.1%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

8(2) 入浴を自分でできますか。(障害別)

○食事と比較して、「部分的に介助・支援が必要」、「全面的に介助・支援が必要」が約3割となっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
1.自分でできる	505	111	165	781	70.2%
2.部分的に介助・支援が必要	72	73	32	177	15.9%
3.全面的に介助・支援が必要	102	24	8	134	12.1%
無回答	13	0	7	20	1.8%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

8(3) トイレを自分でできますか。(障害別)

○食事とほぼ同様の結果となっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
1.自分でできる	562	142	188	892	80.2%
2.部分的に介助・支援が必要	60	49	13	122	11.0%
3.全面的に介助・支援が必要	61	16	5	82	7.4%
無回答	9	1	6	16	1.4%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

8(4) 着替え・身だしなみを自分でできますか。(障害別)

○入浴とほぼ同様の結果となっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
1.自分でできる	517	101	163	781	70.2%
2.部分的に介助・支援が必要	107	93	37	237	21.3%
3.全面的に介助・支援が必要	58	12	7	77	6.9%
無回答	10	2	5	17	1.5%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

8(5) 家の中の移動を自分でできますか。(障害別)

○食事、トイレとほぼ同様の結果となっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
1.自分でできる	543	182	184	909	81.7%
2.部分的に介助・支援が必要	80	19	16	115	10.3%
3.全面的に介助・支援が必要	52	7	4	63	5.7%
無回答	17	0	8	25	2.2%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

8(6) 外出や交通機関の移動を自分でできますか。(障害別)

○家の中の移動は「自分でできる」が約8割となっているが、外出等の場合は「自分でできる」が約5割と約半数が介助等が必要な状況。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
1.自分でできる	380	57	118	555	49.9%
2.部分的に介助・支援が必要	126	75	62	263	23.7%
3.全面的に介助・支援が必要	166	76	25	267	24.0%
無回答	20	0	7	27	2.4%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

8(7) 買い物を自分でできますか。(障害別)

○外出等とほぼ同様の結果となっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
1.自分でできる	386	49	114	549	49.4%
2.部分的に介助・支援が必要	117	67	68	252	22.7%
3.全面的に介助・支援が必要	173	91	22	286	25.7%
無回答	16	1	8	25	2.2%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

8(8) お金の管理を自分でできますか。(障害別)

○買い物とほぼ同様の結果となっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
1.自分でできる	478	24	99	601	54.0%
2.部分的に介助・支援が必要	76	58	75	209	18.8%
3.全面的に介助・支援が必要	121	126	29	276	24.8%
無回答	17	0	9	26	2.3%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

(問8で2または3がひとつでもある場合に回答)

9 あなたを主に介助や支援してくれる方は誰ですか。(障害別)

いずれの障害においても、親族(「父母等」、「配偶者」、「子ども」)が約8割となっている。

n=658

	身体	療育	精神	合計	割合
1. 父母、祖父母、兄弟姉妹	43	157	62	262	39.8%
2. 配偶者(夫または妻)	147	6	30	183	27.8%
3. 子ども	70	0	6	76	11.6%
4. ホームヘルパーや施設の職員	50	18	15	83	12.6%
5. その他の人、ボランティア等	8	2	8	18	2.7%
無回答	15	8	13	36	5.5%
合計	333	191	134	658	100.0%

(問9で1.2.3と答えた場合に回答)

10(1) あなたを支援してくれるご家族の年齢(障害別)

身体障害者、精神障害者は「70歳代」、知的障害者は「50歳代」が一番多くなっている。

n=521

	身体	療育	精神	合計	割合
10歳未満	0	1	0	1	0.2%
10歳代	0	1	1	2	0.4%
20歳代	2	0	2	4	0.8%
30歳代	9	16	7	32	6.1%
40歳代	17	46	10	73	14.0%
50歳代	54	50	12	116	22.3%
60歳代	50	21	25	96	18.4%
70歳代	79	18	32	129	24.8%
80歳以上	45	7	9	61	11.7%
無回答	4	3	0	7	1.3%
合計	260	163	98	521	100.0%

(問9で1.2.3と答えた場合に回答)

10(2) あなたを支援してくれるご家族の性別(障害別)

「男性」が約3割、「女性」が約7割となっている。

n=521

	身体	療育	精神	合計	割合
男性	86	21	30	137	26.3%
女性	167	132	61	360	69.1%
どちらとは言えない	4	7	6	17	3.3%
無回答	3	3	1	7	1.3%
合計	260	163	98	521	100.0%

(問9で1.2.3と答えた場合に回答)

10(3) あなたを支援してくれるご家族の健康状態(障害別)

○「よい」、「ふつう」で8割を超えているが、約2割が「よくない」となっている。

n=521

	身体	療育	精神	合計	割合
よい	59	64	16	139	26.7%
ふつう	153	83	57	293	56.2%
よくない	42	14	25	81	15.5%
無回答	6	2	0	8	1.5%
合計	260	163	98	521	100.0%

(問9で1.2.3と答えた場合に回答)

11 あなたを主に介助、支援をしている方は、現在仕事をしていますか。(障害別)

○身体障害者、精神障害者は「仕事はしていないし、今後もするつもりがない」、知的障害者は「仕事をしている」が一番多くなっている。

n=521

	身体	療育	精神	合計	割合
仕事をしている	90	77	37	204	39.2%
仕事はしていないが、介助等がなければ仕事につきたい	21	32	7	60	11.5%
仕事をしているが、近い将来やめようと考えている	8	5	2	15	2.9%
仕事はしていないし、今後もするつもりはない	124	36	47	207	39.7%
その他	11	10	5	26	5.0%
無回答	6	3	0	9	1.7%
合計	260	163	98	521	100.0%

「その他」の内容

・月に3回だけ仕事 ・長男は病院へ送り迎え、三男は身の回りの世話をしてもらっています。仕事はして
 ます ・在宅でのパートPC業務 ・電話、XTLで交通事故のカウンセラーをしているが、ほぼボランティア
 でお金にならない ・自営補助 ・仕事があれば働きたい(2) ・体力が回復したら仕事をしたい ・
 就職活動中 ・仕事をしていないが両親の介護をしている ・祖母と同居の為 ・妹 現在86歳 ・今は
 仕事をしていないが今後は不明 80代の祖母も同居し、仕事は難しい ・他にも介助が必要な家族
 がいるので、この子に限ったことではない ・きよりの遠い実家でおたがい一人のため ・老齢年金受
 給者 ・定年 ・身体の状態がよくない ・育児休業中(3) ・保育園に入園できないため退職

(問9で1, 2, 3と答えた場合に回答)

11 あなたを主に介助、支援をしている方は、現在仕事をしていますか。<複数回答>(緊急時の対応別)

○「仕事をしている」は「同居の家族に頼む」、「同居していない家族や親戚に頼む」、「仕事をしていないし、今後もするつもりはない」は「公的サービスを頼む」が多くなっている。

n=521

	同居の 家族に頼 む	同居して いない家 族や親 戚に頼む	近所 の人や友 人に頼む	公的サー ビスを頼 む	ヘルパー 等に頼む	病院や 施設に一 時的に入 院・入所 する
仕事をしている	113	91	13	61	36	51
仕事はしていないが、介助等がなければ仕事につきたい	36	20	3	28	14	18
仕事をしているが、近い将来やめようと考えている	6	9	1	10	2	6
仕事をしていないし、今後もするつもりはない	76	78	14	101	53	74
その他	13	11	3	8	5	3
無回答	2	1	1	1	1	2
合計	246	210	35	209	111	154

	特定の 方法は 決まっ ていな い	誰にも頼 まない (介助、 支援な しでい る)	その他	合計	割合
仕事をしている	70	27	8	470	37.7%
仕事はしていないが、介助等がなければ仕事につきたい	28	8	2	157	12.6%
仕事をしているが、近い将来やめようと考えている	4	2	0	40	3.2%
仕事をしていないし、今後もするつもりはない	83	15	13	507	40.7%
その他	13	3	3	62	5.0%
無回答	3	0	0	11	0.9%
合計	201	55	26	1,247	100.0%

(問9で1, 2, 3と答えた場合に回答)

12

あなたを主に介助、支援をしている方が、介助・支援ができなくなった場合、どのようにされていますか。これまでそのようなことがなかった方は、今後のことを想定してお答えください。<特にあてはまる3つ>(障害別)

○身体障害者は「公的サービスを頼む」、知的障害者は「同居の家族に頼む」、精神障害者は「同居の家族に頼む」、「同居していない家族や親戚に頼む」が一番多くなっている(「特定の方法は決まっていない」を除く)。

n=521

	身体	療育	精神	合計	割合
同居の家族に頼む	85	122	39	246	19.7%
同居していない家族や親戚に頼む	100	71	39	210	16.8%
近所の人や友人に頼む	18	9	8	35	2.8%
公的サービスを頼む	113	59	37	209	16.8%
ヘルパー等に頼む	76	23	12	111	8.9%
病院や施設に一時的に入院・入所する	95	32	27	154	12.3%
特定の方法は決まっていない	108	48	45	201	16.1%
誰にも頼まない(介助、支援なしでいる)	25	11	19	55	4.4%
その他	8	8	10	26	2.1%
合計	628	383	236	1,247	100.0%

「その他」の内容

・残った誰かがなんとかする ・子供・義理の妹か娘 ・「同居の家族」、「同居していない家族や親戚」以外まだ考えていない ・一時的なデイサービス、グループホームの利用を検討 ・支援相談センターと相談して決める ・保育園 ・訪問看護 ・配達サービスを利用し、何とかする ・入院したがひたすら退院を待った ・老人ホーム ・現状考えていない ・全く予想ができない ・介助者自身が無理を押し付けてでも何とかする ・自分一人で頑張った ・勤務先と相談する ・生活保護など ・お金によゆうがないのでどうしたら良いのか?分からない ・死を待つのかな? ・介助してくれる人が居なくなったら、自殺を考えている、過去に自殺しようとして、家族に病院に入れられました

(問9で1, 2, 3と答えた場合に回答)

13 主に介助、支援をしている方は、何年間、介助、支援を行っていますか。(障害別)

○身体障害者は「1年以上5年未満」、知的障害者、精神障害者は「20年以上」が一番多くなっており、介助等の年数が長期にわたっている状況。

n=521

	身体	療育	精神	合計	割合
1年未満	20	1	3	24	4.6%
1年以上5年未満	79	11	22	112	21.5%
5年以上10年未満	60	29	24	113	21.7%
10年以上15年未満	40	30	12	82	15.7%
15年以上20年未満	25	30	11	66	12.7%
20年以上	23	54	25	102	19.6%
無回答	13	8	1	22	4.2%
合計	260	163	98	521	100.0%

(問9で1.2.3と答えた場合に回答)

14 1日のうち、介護(支援)に当たっている時間はどのぐらいですか。(障害別)

○「2時間未満」が約4割となっているが、「8時間」以上が約2割となっており、1日の約半分(睡眠時間を8時間とした場合)を介護等に充てている状況。

n=521

	身体	療育	精神	合計	割合
2時間未満	103	48	44	195	37.4%
2時間~4時間	48	21	15	84	16.1%
4時間~6時間	25	14	21	60	11.5%
6時間~8時間	14	19	2	35	6.7%
8時間~10時間	6	12	3	21	4.0%
10時間~12時間	11	8	0	19	3.6%
12時間以上	28	26	8	62	11.9%
無回答	25	15	5	45	8.6%
合計	260	163	98	521	100.0%

(問9で1.2.3と答えた場合に回答)

14 1日のうち、介護(支援)に当たっている時間はどのぐらいですか。(介助者の仕事の有無別)

○「仕事をしている」、「仕事をしているが、近い将来やめようと考えている」は、介護等に当たっている時間が少なくなっている。

○他方、「仕事はしていないが、介助等がなければ仕事につきたい」は「12時間以上」が一番多くなっている。

n=521

	仕事をしている	仕事はしていないが、介助等がなければ仕事につきたい	仕事をしているが、近い将来やめようと考えている	仕事をしていないし、今後もしもするつもりはない	その他
2時間未満	93	10	6	74	10
2時間~4時間	33	10	3	33	5
4時間~6時間	26	5	2	23	4
6時間~8時間	19	4	1	10	0
8時間~10時間	4	4	2	10	0
10時間~12時間	7	5	0	7	0
12時間以上	10	20	1	27	4
無回答	12	2	0	23	3
合計	204	60	15	207	26

	無回答	合計	割合
2時間未満	2	195	37.4%
2時間~4時間	0	84	16.1%
4時間~6時間	0	60	11.5%
6時間~8時間	1	35	6.7%
8時間~10時間	1	21	4.0%
10時間~12時間	0	19	3.6%
12時間以上	0	62	11.9%
無回答	5	45	8.6%
合計	9	521	100.0%

(問9で1.2.3と答えた場合に回答)

15 介助、支援をしていて、悩みや心配ごとがありますか。<特にあてはまる3つ> (障害別)

○身体障害者は「自分の健康に不安がある」、知的障害者は「将来の見通しに不安がある」、精神障害者は「精神的な負担が大きい」が一番多くなっている。

n=521

	身体	療育	精神	合計	割合
自分の健康に不安がある	124	44	39	207	15.2%
身体的な負担が大きい	60	17	16	93	6.8%
精神的な負担が大きい	64	36	47	147	10.8%
経済的な負担が大きい	48	23	38	109	8.0%
他に介助を頼める人がいない	62	35	15	112	8.2%
休養や息抜きの時間が少ない	36	16	10	62	4.5%
長期の旅行や外出ができない	56	19	10	85	6.2%
仕事、学業、社会活動などができない	11	10	5	26	1.9%
緊急時の対応に不安がある	89	69	19	177	13.0%
将来の見通しに不安がある	81	103	46	230	16.8%
他のきょうだいに十分に関われない	8	9	6	23	1.7%
相談にのってくれる人がいない	6	8	9	23	1.7%
特に悩みや心配ごとはない	13	13	2	28	2.0%
その他	5	3	2	10	0.7%
無回答	17	13	4	34	2.5%
合計	680	418	268	1,366	100.0%

「その他」の内容

・介護支援者が死亡した後の生活支援 ・いつまで元気で手助けできるか心配 介助、支援している人が回答するので ・放課後サービスが少ない。千葉まで送迎がない ・夫が難病のため現在ホームで見られている ・認知が多少あるので心配 ・難聴の他の病気にかかったため外出困難
 ・自分が介助者に甘えすぎて介助者をいらだかせてしまう。今やらなければいけない物事に対して消極的な態度を取ってしまう

15 介助、支援をしていて、悩みや心配ごとがありますか。<特にあてはまる3つ> (介助者の年齢別)

○「30歳代」から「60歳代」は「将来の見通しに不安がある」、「70歳代」以上は「自分の健康に不安がある」が一番多くなっている。

n=521

	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代
自分の健康に不安がある	0	1	1	2	15	44
身体的な負担が大きい	0	0	1	6	13	13
精神的な負担が大きい	0	0	3	12	25	32
経済的な負担が大きい	0	1	0	12	18	23
他に介助を頼める人がいない	0	0	0	2	16	29
休養や息抜きの時間が少ない	0	0	0	5	14	12
長期の旅行や外出ができない	0	0	3	3	7	26
仕事、学業、社会活動などができない	0	0	0	4	7	8
緊急時の対応に不安がある	0	0	0	7	19	51
将来の見通しに不安がある	0	1	0	18	35	55
他のきょうだいに十分に関われない	0	0	0	4	7	3
相談にのってくれる人がいない	0	0	0	1	2	5
特に悩みや心配ごとはない	0	1	1	5	7	4
その他	0	0	0	1	0	4
無回答	1	0	0	0	3	4
合計	1	4	9	82	188	313

	60歳代	70歳代	80歳以上	無回答	合計	割合
自分の健康に不安がある	40	65	38	1	207	15.2%
身体的な負担が大きい	17	21	19	3	93	6.8%
精神的な負担が大きい	24	35	14	2	147	10.8%
経済的な負担が大きい	22	23	9	1	109	8.0%
他に介助を頼める人がいない	21	32	12	0	112	8.2%
休養や息抜きの時間が少ない	8	16	7	0	62	4.5%
長期の旅行や外出ができない	23	18	4	1	85	6.2%
仕事、学業、社会活動などができない	2	5	0	0	26	1.9%
緊急時の対応に不安がある	33	43	22	2	177	13.0%
将来の見通しに不安がある	45	55	20	1	230	16.8%
他のきょうだいに十分に関われない	5	1	3	0	23	1.7%
相談にのってくれる人がいない	5	8	2	0	23	1.7%
特に悩みや心配ごとはない	3	4	2	1	28	2.0%
その他	0	2	3	0	10	0.7%
無回答	7	11	6	2	34	2.5%
合計	255	339	161	14	1,366	2.5%

16 あなたは、現在どのように暮らしていますか。(障害別)

○いずれの障害においても、「家族で暮らしている」が一番多くなっている。
 ○「ひとりで暮らしている」、「グループホームで暮らしている」は1割超。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
ひとりで暮らしている	89	5	32	126	11.3%
家族と暮らしている	542	182	159	883	79.4%
グループホームで暮らしている	3	12	4	19	1.7%
福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしている	34	6	2	42	3.8%
病院へ入院している	14	1	8	23	2.1%
その他	6	2	5	13	1.2%
無回答	4	0	2	6	0.5%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

「その他」の内容

・グループホームと家族 ・三女 ・自宅 ・里親家庭 ・老保に入所 ・同棲(6) ・いえでくらしたい ・障害年金

17 あなたは、今後3年以内にどのように暮らしたいと思いますか。(障害別)

○いずれの障害においても、「家族と一緒に暮らしたい」が一番多くなっている。
 ○身体障害者、精神障害者は、「一般の住宅でひとり暮らしをしたい」が2番目に多くなっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
一般の住宅でひとり暮らしをしたい	75	5	40	120	10.8%
家族と一緒に暮らしたい	489	156	119	764	68.7%
グループホームを利用したい	5	18	4	27	2.4%
福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしたい	43	8	6	57	5.1%
その他	8	3	5	16	1.4%
わからない	55	16	35	106	9.5%
無回答	17	2	3	22	2.0%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

「その他」の内容

・現状維持で一人暮らししかないでしょう ・こていさんぜい自分をはらってるいえがいい ・里親家庭 ・実父を在宅介護中。このまま、共倒れしないよう生きたい ・家族と暮らしたいが迷惑をかけたくない ・サ高住で住む ・現在入所2年目、本人の意志は分らない ・出来れば同居を維持 ・入院(3) ・発達障害が分かたら、改善するため努力し、うつ病から脱出する様に取り組んでいたい ・もう一度結婚したい 家もお金も困らないから 財産あり ・今のままでよい

17 あなたは、今後3年以内にどのように暮らしたいと思いますか。(現在の居住状況別)

○「ひとりで暮らしている」、「家族と暮らしている」、「グループホームで暮らしている」、「福祉施設で暮らしている」と回答した者は、今後も現在と同じ暮らしをしたいと回答している。
 ○「病院へ入院している」と回答した者は、「福祉施設で暮らしたい」又は「家族と一緒に暮らしたい」と回答している。

n=1112

	ひとりで暮らしている	家族と暮らしている	グループホームで暮らしている	福祉施設で暮らしている	病院へ入院している
一般の住宅でひとり暮らしをしたい	80	39	0	0	0
家族と一緒に暮らしたい	9	735	1	12	4
グループホームを利用したい	2	11	12	1	0
福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしたい	6	17	2	23	8
その他	4	5	0	1	3
わからない	19	72	4	2	5
無回答	6	4	0	3	3
合計	126	883	19	42	23

	その他	無回答	合計	割合
一般の住宅でひとり暮らしをしたい	1	0	120	10.8%
家族と一緒に暮らしたい	3	0	764	68.7%
グループホームを利用したい	1	0	27	2.4%
福祉施設(障害者支援施設、高齢者支援施設)で暮らしたい	1	0	57	5.1%
その他	3	0	16	1.4%
わからない	4	0	106	9.5%
無回答	0	6	22	2.0%
合計	13	6	1,112	100.0%

18 希望する暮らしを送るためには、どのような支援があればよいと思いますか。＜複数回答＞（障害別）

○身体障害者は「在宅で医療的ケアなどが適切に得られること」、知的障害者、精神障害者は「経済的な負担の軽減」が一番多くなってる。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
在宅で医療的ケアなどが適切に得られること	278	23	43	344	13.6%
障害者に適した住宅の確保	109	73	48	230	9.1%
必要な在宅サービスが適切に利用できること	195	63	40	298	11.8%
生活訓練等の充実	72	76	34	182	7.2%
経済的な負担の軽減	321	100	158	579	22.9%
相談対応等の充実	156	97	96	349	13.8%
地域住民等の理解	54	59	41	154	6.1%
コミュニケーションについての支援	79	80	45	204	8.1%
その他	40	10	14	64	2.5%
無回答	92	17	14	123	4.9%
合計	1396	598	533	2,527	100.0%

「その他」の内容

・親が死んだ後、もしくは高齢者になった時の安心して子供が生活できる場所 ・デイサービスを週2利用だが、介護Iを認定してもらい、週3の利用をしたい ・自宅のリハビリ ・家族が高齢でゴミ出しが大変 ・同居の母(95才の入浴支援) ・巡回診療制度が出来ると良い(75歳以上とか定期的に投薬を受けている人とか限定等にして暑い日や寒い日雨の日に通院を控えて悪化する人もいるので) ・支援センターをもっと作ってください 知的な支援センターを! ・就労支援等の充実 ・精神障害以外の医療費の軽減 ・経済的な支援 ・物価上昇で年金生活が苦しい ・入院費の補助、差額ベッド代の助成、補助 ・仕事についての相談、対応 ・稀少病関係の医療相談 ・公的な文章などの作成のおねがい ・会社従業員の理解 ・世間、主に公共機関に障害を知ってもらう ・わたしのすむところはりかいがむずかしい ・普通学校で学べるための支援 ・放課後等ディサービスの充実 ・発達支援をしてくれる教室などに通いたいが、佐倉市にあるところは定員がいっぱいで入れない ・タクシーなど ・交通手段の確保 ・一人で行き帰り出来る通院手段 ・通院に必要な公的交通の充実 ・買い物のふたん軽減 ・買い物(日用品へ行くのに今まで17~8分で行けたところに昨年6月ごろから往復かたまに片道をタクシー使用しないと歩くのがつらい) ・衣食住、特に食事の充実 ・安心が必要 ・きらくにやりたい ・本人の努力 ・復帰職場の対応 ・週に一回くらい帰宅 ・健康でいること ・介助者の健康 ・パートナーとの出会い ・結婚したい 財産も会社経営していてお金もあるから ・結婚

希望する暮らしを送るためには、どのような支援があればよいと思いますか。＜複数回答＞（今後の居住希望別）

○いずれの居住希望であっても、「経済的な負担の軽減」が一番多くなっている。

n=1112

	一般の住宅でひとり暮らしをしたい	家族と一緒に暮らしたい	グループホームを利用したい	福祉施設で暮らしたい
在宅で医療的ケアなどが適切に得られること	47	249	3	14
障害者に適した住宅の確保	26	143	11	20
必要な在宅サービスが適切に利用できること	35	220	5	13
生活訓練等の充実	16	124	6	12
経済的な負担の軽減	74	382	14	31
相談対応等の充実	52	219	12	19
地域住民等の理解	23	105	1	6
コミュニケーションについての支援	29	128	8	15
その他	6	45	4	0
無回答	5	85	1	4
合計	313	1,700	65	134

	その他	わからない	無回答	合計	割合
在宅で医療的ケアなどが適切に得られること	4	24	3	344	13.6%
障害者に適した住宅の確保	4	25	1	230	9.1%
必要な在宅サービスが適切に利用できること	4	20	1	298	11.8%
生活訓練等の充実	1	21	2	182	7.2%
経済的な負担の軽減	6	65	7	579	22.9%
相談対応等の充実	4	39	4	349	13.8%
地域住民等の理解	4	14	1	154	6.1%
コミュニケーションについての支援	1	21	2	204	8.1%
その他	6	3	0	64	2.5%
無回答	1	12	15	123	4.9%
合計	35	244	36	2,527	100.0%

19 あなたには、普段から治療を受けられ、日常の健康について相談ができる「かかりつけの医師（歯科医師を除く）」がいますか。（障害別）

○身体障害者、精神障害者の約9割、知的障害者の約8割が、かかりつけ医師が「いる」となっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
いる	616	161	185	962	86.5%
いない	60	47	25	132	11.9%
無回答	16	0	2	18	1.6%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

20 あなたには、普段から治療を受けられ、日常の健康について相談ができる「かかりつけの歯科医師」がいますか。（障害別）

○いずれの障害においても、医師と比較すると、かかりつけの歯科医師のいる割合は約6~7割とやや少なくなっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
いる	497	139	129	765	68.8%
いない	177	67	81	325	29.2%
無回答	18	2	2	22	2.0%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

21 医療に関することで困っていることはありますか。＜複数回答＞（障害別）

○いずれの障害においても、「特に困っていない」が一番多くなっている。

○他方、「障害があることで、病気の治療が受けにくい」等、約7割が医療に関する困りごとを有している。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
障害があることで、病気の治療が受けにくい	62	50	35	147	10.0%
医療機関の設備や対応が障害者に配慮されていない	51	42	24	117	8.0%
専門性の高い治療を行っている医療機関が身近にない	125	45	33	203	13.9%
休日・夜間等緊急時に対応可能な医療機関がない(少ない)	111	35	50	196	13.4%
(医療機関の受診の必要性を感じる)なかなか医療機関にかかることができない	42	21	33	96	6.6%
その他	55	21	27	103	7.0%
特に困っていない	335	88	86	509	34.8%
無回答	72	9	12	93	6.4%
合計	853	311	300	1,464	100.0%

「その他」の内容

・1人で受診することができない(6) ・外出時に車でないといけません。50代の支援者は勤務を休むのでその時公的な利用できる制度が知りたい ・介護タクシー等の手配、介助が必要 ・視覚障害のため、緊急連絡さえできない。一人で何もできない ・車いすでは狭い通路、見えづらい曲がり角、せまいトイレ ・下肢が不自由で医療を受けることが億劫なことが多い ・医療機関へ行くことがこんなに治療を受けることがむずかしい ・自分の体調をうまく伝えることができないのでグループホームの職員や通所施設の職員が気づかないと体調の悪化がわかりにくい。また職員が病院に連れていってくれなければ診察も受けられない ・コミュニケーションが取りにくい ・病状を的確に説明できない ・自分で自分の症状が言えない。自分で自分の症状が言えないので、定期的に血液検査などを受けたい ・申請書類や病院の予約が難しい。病院の待ち時間が長い ・ここ数年、不調が多く、予約制が負担 ・予約が得意では無いので、受診しにくい ・健康診断 がん検診などが受けにくい ・知的障害に対する医療機関に定期的にかかりたいが、大きい病院に昔、やんわり断られたためどこにかかればいいのかわかりません ・障害を理由に断られたことがある ・障害があることで断られたことがあります。病気にならない。検査ができない。歯科治療や整形外科で母親が付き添って代弁してるにもかかわらず「障害があるじゃないですか」としかられたことがあります(市内の病院) ・障害があるため診療を断る医師が多く困っている ・精神疾患がある、というだけでその他の疾患で119を呼んでもHpから受け入れ拒否された ・医師等の高圧的な態度で受診が怖い。又、かかりつけは心療内科しかないのも、一般的な風邪等で受診ができない ・メンタルヘルス科に担当医師がいるが自分が話の理解が出来なくて困っていたら強気に言われて怖かった。以前は障害についてよくとり扱ってくれたが現在は軽視されている気がする ・入院しているが病院から状態を伝えてくれることは全くない。病院に囚われている印象で家族としては心が痛む ・脳出血でたおれて、その後医療に行った時から血圧もはかってくれない院長先生にとまどいと持っています。この様な先生がいるのが残念!! ・てんかんのりかいかい度がないためかかりつけがむずかしい ・現在は内科的な問題はないが、それ以外の対応が心配 ・信頼性の高い総合病院に難あり ・会話が難しいが話しかけられる ・現在通院している病院の駐車場で降り足元が危ない ・車椅子を利用できない医院がまだある ・介助者(女性と本人(男性))で性別が違う為、障害者用のトイレがない場合はトイレを利用できないことがある。) ・生活保護にやさしくない。予防接種など自費なので出来ないで困っている ・医療機関が遠い(6) ・自宅に自動車がない為、医用機関(大きながへんびな所ばかりに在るので、とても困る。コロナ禍でもあるので。) ・第8胸椎形質細胞腫瘍に関し、血液内科と整形外科医間で横の連絡をとらないため共に「私の専門外」となっている 両者を診る総合医が近くに居ないので困っている ・介護側が高齢化してきているので遠く離れた病院に行くのが出来なくなる ・現時点は自動車の運転が出来ることが不可になった時通院に困る ・自分で移動できるのも2,3年位。夫の介護をしている状態 ・コロナの対応の医療機関が少ない ・小児循環器がない。生まれつきの病気のため成人でも小児科の分野のため ・交通機関の充実 ・通院手段 ・移動手段がない(金銭面も困難) ・通院が大変 ・聖隷佐倉病院には週一で有明がんセンターのDrが来てくれるが長く診てもらいたいので途中で辞めることなく佐倉に来てほしい。病院は近くに複数あり大変恵まれていると思う。病院は近所が一番。日々安心できる。 ・精神の対応(24時間できる医療機関が佐倉市にもほしい) ・緊急性がある時に通院することの不安 ・かかりつけ医が木曜日の午後だけなので、いつでも見てもらえる先生に変えたい ・発病等緊急の場合、セコムのマイドクターに加入しているので心配ないが(セコムの対応に万が一何か起きたときが常に心配) ・口腔内を見てもらう等、診療全般が苦手なこと 大騒ぎになる ・待ち時間が長いとイライラするが、車内でも待てない。時間調整が大変 ・あまりに人が多すぎて、心療内科は2~3時間かかり、歯科医は3ヶ月待つ。診療は薬が一週間毎だが、休日しか行く日がないので週二回の休日に数時間も待ちたくないのあまり行っていない ・なるべく動きたくない ・復職時は土曜日が潰れ休めない ・歩行に徐々に不自由さを感じる ・通院する時、雨など天候が悪いと受診しにくい ・医療にかかる費用が高い(5) ・差額ベッド代の助成・補助が全くない ・シルバーの送迎者を頼みたいが、料金が普通のタクシーと変わらない ・義足を着用していて、製作時気軽に相談する機関が近くにあればと感じている ・周りの目が気になる ・周りがうるさい ・治りにくい ・元の健康な身体に戻る方法がいまのところない ・医療機関受診時の待ち時間が長い。受診予約が取りにくい ・医療機関の待ち時間が長く疲れる ・病院の順番取り(早朝から並ぶ) ・予約制で2カ月先になってしまう脳神経内科 ・精神科の先生の受診時間が短い ・2年前からパルーンを装着、月一回泌尿科に通っている ・先生から電話があり心配してくれる。具合が悪くなったらすぐに来ないと電話をもらう ・普通の人と同じに対応してもらっています 車イスに世話を受ける時もあります。1人で歩けますから、いつもは自分で歩いています 毎朝5時45分から厳しい訓練みたいな整体治療を自費で受けています。自分で車運転 ・訪問医師が回ってくる ・多種のワクチンが同時に接種申込が来る ・精神障害は傷と違って見た目で見えづらく、通院を長引く患者が多くなり先生に負担がかかっている ・定期的に健康診断を受けたい ・災害発生時(停電等) ・一見普通なので(話もできるし普通に対応、双方の話を聞いて母が理解する必要性を時々感じる(私がぼけたらどうしようかと思う) ・入院中 ・セカンドオピニオンしにくい ・最近週3回午前中の中になった為 今後は不要

22 あなたは、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。＜複数回答＞（障害別）

○いずれの障害においても、「家族や親せき」が一番多くなっている。
 ○障害別にみると、身体障害者、精神障害者は「かかりつけの医師や看護師、病院のケースワーカー」、知的障害者は「相談支援事業所」が次いで多くなっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
家族や親せき	506	161	153	820	35.1%
友人・知人	156	43	75	274	11.7%
近所の人	23	4	9	36	1.5%
勤務先の上司・同僚	19	23	26	68	2.9%
施設の指導員など	48	52	19	119	5.1%
ホームヘルパーなどサービス事業所	37	10	12	59	2.5%
福祉団体・サークルなど	6	8	7	21	0.9%
かかりつけの医師や看護師、病院のケースワーカー	186	33	77	296	12.7%
社会福祉協議会	8	1	8	17	0.7%
介護保険のケアマネージャー	112	0	9	121	5.2%
民生委員・児童委員	9	2	4	15	0.6%
通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生	8	50	4	62	2.7%
相談支援事業所	14	69	35	118	5.0%
市役所（障害福祉課、健康管理センターなど）	89	26	35	150	6.4%
児童相談所、保健所、ハローワーク等の行政機関	2	6	4	12	0.5%
その他	14	4	6	24	1.0%
特になし	71	10	12	93	4.0%
無回答	26	2	6	34	1.5%
合計	1,334	504	501	2,339	100.0%

「その他」の内容

・入所施設の職員 ・自分の病気の患者会メンバー ・訪問看護の看護師 ・労災ケアサポーター（看護師） ・精神科医には相談するが何も解決しない ・地域包括支援センター（2） ・市役所ケースワーカー ・千葉県発達障害者支援センター ・マンションの管理人 ・家族以外で理解してもらえる人はいない ・インターネット ・SNS（2） ・命の電話、よりそいほっとライン、心の健康相談 ・就労面で希望を伝えたことがあるが、それ以来、連絡は来なくなった ・会話する能力がない、しゃべれない。相談する知能がない ・意思疎通ができる状態ではない

(問22で「17. 特にない」と答えた場合に回答)

23 相談する先が特にない理由をお答えください。(障害別)

○「困っていることがほとんどない」、「困っていることがあるが、特に相談する必要性を感じない」が約半数となっている。
○他方、「相談しても理解してもらえない」等、約4割が相談することができていない状況。

n=93

	身体	療育	精神	合計	割合
困っていることがほとんどない	25	2	2	29	31.2%
困っていることがあるが、特に相談する必要性を感じない	12	4	0	16	17.2%
相談しても理解してもらえない	9	1	3	13	14.0%
どこに相談してよいかわからない	8	1	2	11	11.8%
相談する勇気がない	3	0	1	4	4.3%
その他	6	2	2	10	10.8%
無回答	8	0	2	10	10.8%
合計	71	10	12	93	100.0%

「その他」の内容

・認知があるので相談事がない ・うまく伝える事が出来ない ・言語障害があり話せない ・意思表示不能 ・まだ発語がない ・解決しない ・相談相手がいない ・長期入院中 ・介護保険では車の利用がない？

24 あなたは、福祉サービスに関する情報を誰(どこ)から入手していますか。<複数回答>(障害別)

○いずれの障害においても、「家族や親せき、友人・知人」が一番多くなっている。
 ○身体障害者は「市や県の広報、パンフレット」、「市役所」、知的障害者は「相談支援事業所」、「市役所」、精神障害者は「インターネット」、「市役所」が多くなっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
家族や親せき、友人・知人	228	110	73	411	18.2%
勤務先の上司・同僚	6	9	6	21	0.9%
テレビ・ラジオ・新聞・雑誌	87	12	19	118	5.2%
インターネット	108	53	75	236	10.4%
市や県の広報、パンフレット	246	44	41	331	14.6%
公民館などの公開講座	6	1	1	8	0.4%
福祉団体・サークルなど	15	18	3	36	1.6%
かかりつけの医師や看護師、病院のケースワーカー	126	13	69	208	9.2%
社会福祉協議会	16	3	10	29	1.3%
介護保険のケアマネージャー	140	0	10	150	6.6%
民生委員・児童委員	7	3	4	14	0.6%
通園施設や保育所、幼稚園、学校の先生	8	46	3	57	2.5%
相談支援事業所	11	91	38	140	6.2%
市役所(障害福祉課、健康管理センターなど)	180	59	70	309	13.6%
児童相談所、保健所、ハローワーク等の行政機関	1	7	7	15	0.7%
その他	15	5	5	25	1.1%
特になし	66	11	19	96	4.2%
無回答	46	8	6	60	2.7%
合計	1,312	493	459	2,264	100.0%

「その他」の内容

・家族・介助者・支援学校の親の会・労災ケアサポーター(看護師)・薬剤師・病気の時の対応策・入所施設の職員・デイケア・地域包括支援センター(2)・学校(2)・通所施設・地域支援センター・ワーカーズコレクティブ風車・家族に自ら障害福祉課まで連れて行ってもらう・新聞もとってないし、これから先何かあったら市役所に相談するしかない・市役所、かかりつけ病院などの張ってあるポスター等

25 あなたの外出の回数はどれくらいですか。(障害別)

○知的障害者、精神障害者は「ほとんど毎日」、身体障害者は「1週間に数回」が一番多くなっている。
○他方、「めったに外出しない(月1~2回程度)」等、約2割が外出する機会が少ない(ない)状況。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
1.ほとんど毎日	233	166	92	491	44.2%
2.1週間に数回	307	26	73	406	36.5%
3.めったに外出しない(月1~2回程度)	86	7	28	121	10.9%
4.まったく外出しない	13	6	3	22	2.0%
5.外出できない	38	2	8	48	4.3%
無回答	15	1	8	24	2.2%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

(問25で「1.2.3」と答えた場合に回答)

26 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。<複数回答>

○身体障害者、精神障害者は、「買い物に行く」、「医療機関の受診」、知的障害者は、「通勤・通学」、「通園、施設への通所」が多くなっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
通勤、通学	96	125	80	301	11.4%
通園、施設への通所	59	84	20	163	6.2%
訓練、リハビリ	86	14	11	111	4.2%
医療機関の受診	397	65	119	581	22.0%
買い物に行く	417	105	133	655	24.8%
友人・知人に会う	119	17	40	176	6.7%
趣味やスポーツをする	113	26	33	172	6.5%
サークル・グループ活動に参加する	39	11	7	57	2.2%
散歩に行く	234	64	52	350	13.2%
その他	48	16	12	76	2.9%
無回答	2	1	1	4	0.2%
合計	1,610	528	508	2,646	100.0%

「その他」の内容

・仕事(7)・明朗アカデミー佐倉キャンパス・デイサービス(7)・ショートステイ(2)・親の介護の送迎・特養の一環・人工透析(2)・接骨院・ワクチン接種 歯医者・祖父母宅・実家(3)・孫の世話・入院家族への面会・習い事、教会・ライブ・スポーツクラブ(2)・プールの中で歩く・ボランティア(2)・コロナの前は施設(役所へ音楽療法でボランティアを行っていました。)・映画(2)・図書館(2)・家庭菜園(2)・子供の散歩に付き添う・犬の散歩 1日5、6回・気分転換(2)・ドライブ(4)・外食(6)・散髪(5)・家の手伝いで出荷・畑・審議会、委員会・役所・ぎんこう・保育園・幼稚園への送迎(2)・兄弟の送迎・両親と車で外出する時・自宅周辺の近距離のみ・ゴミ捨てすら出来ず、買い物も主人に任せ引きこもることが冬場は多い・こだわり

(問25で「1.2.3」と答えた場合に回答)

27 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(障害別)

○身体障害者、精神障害者は、「ひとりで外出する事が多い」、知的障害者は、「父母・祖父母・兄弟姉妹」が多くなっている。

n=1018

	身体	療育	精神	合計	割合
父母・祖父母・兄弟姉妹	38	141	42	221	21.7%
配偶者(夫または妻)	210	6	22	238	23.4%
子ども	71	1	9	81	8.0%
ホームヘルパーや施設の職員	30	8	2	40	3.9%
その他の人(ボランティア等)	7	0	6	13	1.3%
ひとりで外出する事が多い	247	36	105	388	38.1%
無回答	23	7	7	37	3.6%
合計	626	199	193	1,018	100.0%

(問25で「1.2.3」と答えた場合に回答)

28 外出する際に困ることは何ですか。<複数回答>(障害別)

○身体障害者は「道路や駅に階段や段差が多い」、知的障害者は「緊急時の対処法がわからない」、精神障害者は「騒音が苦手」が一番多くなっている。

n=1018

	身体	療育	精神	合計	割合
電車やバスなどの交通機関が利用しづらい(駅やバス停が遠い、本数が少ない)	153	47	52	252	11.5%
電車やバスの乗り降りが困難	124	19	15	158	7.2%
障害者用駐車場が不備、または少ない	112	12	6	130	6.0%
道路や駅に階段や段差が多い	185	10	19	214	9.8%
歩道に問題が多い(狭い、障害物、誘導ブロックの不備など)	99	17	13	129	5.9%
点字・音声等の案内が少ない	11	3	0	14	0.6%
外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーター、案内表示など)	87	13	10	110	5.0%
身近な公園や歩道のベンチなど、休憩できる場所が少ない	92	12	21	125	5.7%
緊急時の対処法がわからない	66	67	49	182	8.3%
外出するためには、たくさんお金がかかる	62	22	66	150	6.9%
障害を理由に利用を断る施設がある	9	3	1	13	0.6%
周囲の目が気になる	32	51	51	134	6.1%
騒音が苦手	16	43	70	129	5.9%
介助(支援)者がいない、または不足している	30	22	7	59	2.7%
その他	43	14	13	70	3.2%
特になし	179	46	48	273	12.5%
無回答	32	5	5	42	1.9%
合計	1,332	406	446	2,184	100.0%

「その他」の内容

・電車の乗り換えのエレベーターで優先されず、エレベーター待ちしている人が多すぎて電車に乗り遅れてしまう・コミュニティバスが近くに停まらない・バスのけあげが高く足が届かない ノンステップバスにしてほしい・免許が無くなった後、シルバーカートでバスの乗降が不自由・バスの場合、乗車の際、バスと降りる(乗る場所が離れすぎている。(運転手さんによる)・障害者用駐車場に健常者の方が使っている為利用できない・車椅子利用者の駐車スペース少ない。トイレも同様・信号が良く見えない・交通量の多い横断歩道が渡れない 信号が少ない・自転車のすれちがいがかわい・歩道はバリアフリーになっているが道が平らになっていない所が多く歩きづらい(かたむき)・大学病院へ通院の際等、介護タクシーを利用したいがお金がかかり不安をかかえながら一人で行っている・ストレスで過敏性腸症候群で急にトイレに行きたくなるが、コロナ情勢で店に断られることが多い・高速バスのようなものに乗る時に同行者による介助を絶対条件にされる(家族介護を求められる)・好奇の目で見られる、舌打ちされる・マスクを外すと周囲から変な目で見られる。障害とみられずつらい。コロナが疑われる・公園に行く際に人(主に子供がいない時間帯や場所を選んで行くようにしています。一緒に遊ぶことはできませんし、周りの目も気になるから。仕方ないことですがもっと自由に公園に行ければ)・外見だけでは一見健常者に見られるので、ほかの方とぶつかったり見落としたりすると不快な顔をされる(謝っても)・電車内でのゆうせん席でのヘルプカードをりかいしてほしい・交通機関の人が密集している空間がづらい・密な状況が苦手、パニック発作が起こる・過度な臭いや人混みが苦手・知らない場所だと、一人だとパニックのおそれ・つかれてしまう・げんちょうがあるのか、こわい・急な体調の変化、めまいや吐き気など・声に障害があるので何かあったとき助けを呼べない・道に迷った場合に帰れなくなる危険や、パニックになって事故にあうおそれ・外出するのは、一人で外出するのは困難で常に家族または施設の職員の先生の介助が必須・人に頼らないとできない事が多すぎる・いきたい時に家族が工作中用事でいけない・家族が一緒じゃないと不安・たすけてくれる人が少ない 声を掛けてくれる人が少ない 電車やバスで席が空いているのをおしえてくれる人が少ない・代弁してもらえぬ人が必要(自分の言葉から)・コロナ禍も手伝い外出許可が出ない。出ても高齢で感染が怖い。付き添いの子供が休暇を取りづらい(外出許可が平日のみで、付き添いが平日フルタイムで就業しており、休暇申請がしづらいため)・排泄障害のため我慢が難しく移動中もれてしまう・排便の不安・障害者用のトイレ少ない・車いす利用者用のトイレが少ない(横になる為)・トイレ・ルーティンで利用することはできるが、自ら目的を新たに外出したり、それに合う時刻を調べることはできない・一人で外出すると交通ルールが理解できない部分があり危険・事業所へ通う以外は一人で外出することが不安な為、一人ではほとんど外出しない・自動車の運転ができない・長距離が歩けない・狭窄症で歩行困難・歩けない・難聴に加え昨年からは内科の病気あり歩行が不便・歩いて買物が出来る所がない為、車が必要でだんだん運転が困難になってくる・片道2~300メートルしか歩けない。つまづくのが怖いので・下肢が弱り、医療機関の駐車場が院までの移動もなかなか困難・高齢すぎるため車いす利用も難あり・車椅子利用等で病院以外出ない・電車の速度がかわい。風が強いとかわい・膝が痛い。お尻の骨が痛い。悪性リンパ腫の後遺症・大きな買い物をしたとき運ぶことが困難、障害者手帳を提示することで割引で配達してもらいたい・暗い場所、みえづらい為・マスク着用ができないため場所が限られる・当てはまるものに対して、かもしれないという可能性有り・介助者の自家用車に同乗、タクシーの利用・ふくしタクシーでヘルパーさんといっている・外出はほとんど病院かデイサービスなので今のところ家族、介護タクシー利用で対処・介護タクシーにお世話になるので病院以外の外出はしづらい・今まで17-8分で行けたスーパーに片道か往復タクシーを使っている・タクシー券利用(2)

29 あなたは平日の日中を、主にどのように過ごしていますか。(障害別)

○身体障害者、精神障害者は「自宅で過ごしている」、知的障害者は「福祉施設、作業所に通っている(就労継続支援A型を含む)」が一番多くなっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
会社勤めや、自営業、家業などで収入を得る仕事をしている	89	40	65	194	17.4%
ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	8	0	0	8	0.7%
専業主婦(主夫)をしている	82	0	14	96	8.6%
福祉施設、作業所に通っている(就労継続支援A型も含む)	14	54	20	88	7.9%
病院などのデイケアに通っている	22	0	3	25	2.2%
リハビリテーションを受けている	16	0	1	17	1.5%
自宅で過ごしている	339	12	75	426	38.3%
入所している施設や病院等で過ごしている	34	5	8	47	4.2%
大学、専門学校、職業訓練校に通っている	0	1	2	3	0.3%
特別支援学校(小中高等部)に通っている	2	41	2	45	4.0%
一般の高校、小中学校に通っている	9	36	3	48	4.3%
幼稚園、保育所、障害児通園施設などに通っている	5	12	0	17	1.5%
その他	29	3	11	43	3.9%
無回答	43	4	8	55	4.9%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

「その他」の内容

・働いている(3) ・人工透析(4) ・デイサービス(4) ・癌で自宅緩和ケア ・休職中のため、自宅
 ・ねている、休んでいる ・家でネコの世話、買い物家事など ・寝ている理由:夜就寝にも背部が痛く
 眠れない そのため起床して雑布を手洗したりすると気が紛れる 結局昼夜逆転し日中は疲れ切っ
 ているので眠ることができる ・実家の手入れ(草取りなど母親が動けないので) ・同居人の家 ・老保
 に入所 ・病院の個室で過ごす。特に誰かと話しをする機会もない ・入院中 ・支援級 スマイル学
 級 ・無認可のインクルーシブの学校 ・買い物(2) ・スポーツジム(2) ・図書館(2) ・施設内の
 サークル ・麻雀 ・外に出てなるべく沢山歩いている ・シルバーカーで歩く ・孫を学童保育へ迎え
 依頼で行って来る ・孫の世話 ・山林の手入れ、草とり ・野菜作り(2) ・自分の調子を騙しながら

30 あなたは、次の障害福祉サービスを利用していますか。

○障害福祉サービスのうち、「相談支援」、「放課後等デイサービス」、「生活介護」、「居宅介護（ホームヘルプ）」、「就労継続支援（A型、B型）」の利用が多くなっている。

	居宅介護 (ホームヘルプ)	重度訪問 介護	同行援護	行動援護	重度障害 者等包括 支援	短期入所 (ショート ステイ)
現在利用していない	229	234	236	232	235	230
現在利用しており、今後3年も同じくらい利用したい	31	4	4	10	4	20
現在利用しており、今後3年は現在より増やして利用したい	8	1	2	0	2	9

	療養介護	生活介護	自立訓練 (機能訓練、生活 訓練)	自立生活 援助	就労移行 支援	就労継続 支援(A 型、B型)
現在利用していない	236	225	230	234	232	218
現在利用しており、今後3年も同じくらい利用したい	5	46	21	7	10	35
現在利用しており、今後3年は現在より増やして利用したい	0	4	4	1	2	9

	就労定着 支援	施設入所 支援	共同生活 援助 (GH)	児童発達 支援	放課後等 デイサー ビス	居宅訪問 型児童発 達支援
現在利用していない	233	235	228	37	16	41
現在利用しており、今後3年も同じくらい利用したい	11	4	18	13	49	0
現在利用しており、今後3年は現在より増やして利用したい	0	2	1	1	3	0

	保育所等 訪問支援	相談支援	意思疎通 支援	地域移行 支援	地域定着 支援	移動支援
現在利用していない	42	199	233	234	232	230
現在利用しており、今後3年も同じくらい利用したい	0	55	1	2	1	7
現在利用しており、今後3年は現在より増やして利用したい	0	1	0	0	1	6

	地域活動 支援セン ター	生活サ ポート	移動入浴 サービス	障害者一 時介護	日中日帰 りショール ステイ	特別支援 学校生等 日中活動 体験
現在利用していない	231	230	233	231	229	36
現在利用しており、今後3年も同じくらい利用したい	4	3	4	5	17	4
現在利用しており、今後3年は現在より増やして利用したい	3	6	1	1	1	2

31 今後3年以内に新たに利用したいサービスがありますか。(障害別)

○新たに利用したいサービスが「ある」と回答した者が全体の約2割となっている。
○他方、「わからない」という回答した者が約4割存在。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
ある	95	73	31	199	17.9%
ない	207	44	69	320	28.8%
わからない	244	66	82	392	35.3%
無回答	146	25	30	201	18.1%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

(問31で「ある」と答えた場合に回答)

32 今後3年以内に新たに利用したいサービスを教えてください。<複数回答>(障害別)

○ほぼすべての障害福祉サービスの利用意向があるが、「短期入所(ショートステイ)」、「日中日帰りショートステイ」が比較的多くなっている。

n=199

	身体	療育	精神	合計	割合
居宅介護(ホームヘルプ)	20	1	3	24	5.3%
重度訪問介護	5	0	1	6	1.3%
同行援護	10	2	2	14	3.1%
行動援護	8	11	3	22	4.8%
重度障害者等包括支援	4	2	1	7	1.5%
短期入所(ショートステイ)	20	15	4	39	8.6%
療養介護	5	1	0	6	1.3%
生活介護	8	4	6	18	3.9%
自立訓練(機能訓練、生活訓練)	10	5	2	17	3.7%
自立生活援助	13	6	0	19	4.2%
就労移行支援	6	6	10	22	4.8%
就労継続支援(A型、B型)	5	7	6	18	3.9%
就労定着支援	3	5	4	12	2.6%
施設入所支援	9	5	3	17	3.7%
共同生活援助(グループホーム)	3	17	5	25	5.5%
児童発達支援	1	7	0	8	1.8%
放課後等デイサービス	4	16	1	21	4.6%
居宅訪問型児童発達支援	0	0	0	0	0.0%
保育所等訪問支援	1	2	0	3	0.7%
相談支援	11	10	8	29	6.4%
意思疎通支援	2	2	3	7	1.5%
地域移行支援	2	1	0	3	0.7%
地域定着支援	2	2	0	4	0.9%
移動支援	12	2	3	17	3.7%
地域活動支援センター	8	3	4	15	3.3%
生活サポート	12	3	6	21	4.6%
移動入浴サービス	4	0	1	5	1.1%
障害者一時介護	8	3	3	14	3.1%
日中日帰りショートステイ	16	6	4	26	5.7%
特別支援学校生等日中活動体験	1	8	2	11	2.4%
無回答	2	2	2	6	1.3%
合計	215	154	87	456	100.0%

33 あなたは、介護保険によるサービスを利用していますか。(障害別)

○約2割が「利用している」と回答。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
利用している	173	3	14	190	17.1%
利用していない	439	184	179	802	72.1%
無回答	80	21	19	120	10.8%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

(問33で「利用している」と答えた場合に回答)

34 該当する要介護度はどれですか。(障害別)

○「要支援」が約3割、「要介護」が約7割となっている。

n=190

	身体	療育	精神	合計	割合
要支援1	16	0	1	17	8.9%
要支援2	36	0	2	38	20.0%
要介護1	6	0	3	9	4.7%
要介護2	33	0	2	35	18.4%
要介護3	25	0	0	25	13.2%
要介護4	31	0	2	33	17.4%
要介護5	25	0	0	25	13.2%
無回答	1	3	4	8	4.2%
合計	173	3	14	190	100.0%

(問33で「利用している」と答えた場合に回答)

35 利用している介護保険サービスはどれですか。<複数回答>(障害別)

○身体障害者は、「福祉用具貸与」、「通所介護(デイサービス)」、「訪問リハビリテーション」が多くなっている。

n=190

	身体	療育	精神	合計	割合
訪問介護(ホームヘルプサービス)	26	0	5	31	8.2%
訪問入浴介護	18	0	1	19	5.0%
訪問看護	25	0	3	28	7.4%
訪問リハビリテーション	37	0	1	38	10.0%
夜間対応型訪問介護	2	0	1	3	0.8%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	3	0	1	4	1.1%
居宅療養管理指導	3	0	2	5	1.3%
通所介護(デイサービス)	69	0	4	73	19.3%
通所リハビリテーション	1	0	0	1	0.3%
地域密着型通所介護	1	0	0	1	0.3%
認知症対応型通所介護	0	0	0	0	0.0%
短期入所生活介護(ショートステイ)	24	0	1	25	6.6%
短期入所療養介護	1	0	0	1	0.3%
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	16	1	2	19	5.0%
介護老人保健施設	2	0	0	2	0.5%
介護療養型医療施設	1	0	1	2	0.5%
特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム等)	4	0	0	4	1.1%
介護医療院	1	0	1	2	0.5%
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	1	0	0	1	0.3%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	1	0	0	1	0.3%
地域密着型特定施設入居者生活介護	1	0	0	1	0.3%
小規模多機能型居宅介護	1	0	0	1	0.3%
看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)	0	0	1	1	0.3%
福祉用具貸与	86	0	4	90	23.7%
特定福祉用具販売	16	0	0	16	4.2%
無回答	6	2	2	10	2.6%
合計	346	3	30	379	100.0%

(問33で「1.利用している」と答えた場合に回答)

35 利用している介護保険サービスはどれですか。(障害支援区分別)

○障害支援区分により多少の違いはみられるが、「福祉用具貸与」、「通所介護(デイサービス)」、「訪問介護(ホームヘルプサービス)」が多くなっている。

n=190

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
訪問介護(ホームヘルプサービス)	3	4	2	6	0	1
訪問入浴介護	2	2	0	2	1	1
訪問看護	2	3	0	2	1	1
訪問リハビリテーション	2	5	0	4	0	0
夜間対応型訪問介護	0	1	0	0	0	0
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	0	0	1	0	0
居宅療養管理指導	1	0	1	0	0	0
通所介護(デイサービス)	6	5	0	6	1	1
通所リハビリテーション	0	0	0	0	0	0
地域密着型通所介護	0	1	0	0	0	0
認知症対応型通所介護	0	0	0	0	0	0
短期入所生活介護(ショートステイ)	2	1	0	2	0	2
短期入所療養介護	1	0	0	0	0	0
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	1	1	0	0	1	0
介護老人保健施設	1	0	0	0	0	0
介護療養型医療施設	0	0	0	0	0	0
特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム等)	0	0	0	0	0	0
介護医療院	1	0	0	0	0	0
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	0	0	0	0	0	0
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0	0	0	1	0
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	1	0	0	0
小規模多機能型居宅介護	0	0	0	0	0	0
看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)	0	0	0	0	0	0
福祉用具貸与	6	8	1	7	2	2
特定福祉用具販売	0	1	0	1	1	1
無回答	1	1	2	0	1	0
合計	30	33	7	31	9	9

	受けていない	無回答	合計	割合
訪問介護(ホームヘルプサービス)	5	10	31	8.2%
訪問入浴介護	6	5	19	5.0%
訪問看護	9	10	28	7.4%
訪問リハビリテーション	16	11	38	10.0%
夜間対応型訪問介護	0	2	3	0.8%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	1	1	4	1.1%
居宅療養管理指導	2	1	5	1.3%
通所介護(デイサービス)	26	28	73	19.3%
通所リハビリテーション	1	0	1	0.3%
地域密着型通所介護	0	0	1	0.3%
認知症対応型通所介護	0	0	0	0.0%
短期入所生活介護(ショートステイ)	10	8	25	6.6%
短期入所療養介護	0	0	1	0.3%
介護老人福祉施設(特別養護老人ホーム)	10	6	19	5.0%
介護老人保健施設	1	0	2	0.5%
介護療養型医療施設	1	1	2	0.5%
特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム等)	1	3	4	1.1%
介護医療院	1	0	2	0.5%
認知症対応型共同生活介護(グループホーム)	1	0	1	0.3%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	0	0	1	0.3%
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	1	0.3%
小規模多機能型居宅介護	1	0	1	0.3%
看護小規模多機能型居宅介護(複合型サービス)	1	0	1	0.3%
福祉用具貸与	40	24	90	23.7%
特定福祉用具販売	9	3	16	4.2%
無回答	2	3	10	2.6%
合計	144	116	379	100.0%

36 あなたは、災害などの緊急時にひとりで避難できますか。(障害別)

○「避難できない」が全体の約4割となっており、知的障害者に限ると約7割となっている。
○また、「わからない」と回答した者が約2割存在。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
ひとりで避難できる	274	29	89	392	35.3%
避難できない	261	136	39	436	39.2%
わからない	136	43	81	260	23.4%
無回答	21	0	3	24	2.2%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

36 あなたは、災害などの緊急時にひとりで避難できますか。(年齢別)

○年齢別にみると、「避難できない」と回答した者のうち、「18歳未満」、「70歳代」以上が多くなっている。

n=1112

	18歳以下	18~20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
ひとりで避難できる	10	18	31	40	55	67
避難できない	83	28	21	30	31	33
わからない	17	22	33	38	24	28
無回答	0	0	0	2	1	3
合計	110	68	85	110	111	131

	70歳代	80歳以上	無回答	合計	割合
ひとりで避難できる	122	48	1	392	35.3%
避難できない	89	118	3	436	39.2%
わからない	52	45	1	260	23.4%
無回答	8	10	0	24	2.2%
合計	271	221	5	1,112	100.0%

36 あなたは、災害などの緊急時にひとりで避難できますか。<複数回答>(障害支援区分別)

○障害支援区分別にみると、区分数の大きさにかわらず、「避難できない」と回答した者が多くなっている。

n=1112

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5
ひとりで避難できる	8	6	4	3	0
避難できない	22	20	9	21	12
わからない	2	9	8	5	2
無回答	0	1	0	0	1
合計	32	36	21	29	15

	区分6	受けていない	無回答	合計	割合
ひとりで避難できる	0	344	27	392	35.3%
避難できない	16	245	91	436	39.2%
わからない	0	209	25	260	23.4%
無回答	0	16	6	24	2.2%
合計	16	814	149	1,112	100.0%

(問36で「2.避難できない」と答えた場合に回答)

37 ひとりで避難できない理由は何ですか。<複数回答>(障害別)

○身体障害者、精神障害者は「介助者の手助けが必要」、身体障害者は「緊急時という判断がつかない」が一番多くなっている。
○また、「避難場所がわからない」と回答した者が約2割存在。

n=436

	身体	療育	精神	合計	割合
介助者の手助けが必要	228	95	24	347	48.7%
避難場所が遠い	45	10	4	59	8.3%
避難場所がわからない	39	67	14	120	16.8%
緊急時という判断がつかない	36	96	11	143	20.1%
その他	20	15	7	42	5.9%
無回答	1	0	1	2	0.3%
合計	369	283	61	713	100.0%

「その他」の内容

・眼がほとんど見えないからなかなか難しい・耳が不自由、足が悪い・音声案内が聴こえない・会話ができない・車イス生活の為・歩けない、一人なら車移動のみ・手足が不自由 転んだら立つことができない・体が悪く早く動けない・歩行困難(4)・下肢に障害・急な坂・その時の状況によります・腰痛・在宅介護中の実父と避難する事が出来るかとても不安・夫は障害者1級のため介護状態で私一人の問題ではない・介助者も高齢・必需品の搬出の手助け要あり・指示をしないと行動できない・ひとりでは不安・どうしたらよいかわからない・自信がない・パニックになる・突然のことにどう対処していいか判断に困る。パニックになってしまうかも・知的障害児なので家から出たら迷子になるし、危険予知もできないので車に轢かれる。人に聞けないし、教えてもらっても理解ができないのでパニックに陥りその場で動けなくなる・何が起きても避難が必要だということをわかっていない。何が起きても危険だという意識が薄い・避難自体がわからない・アルツハイマー・急な対応ができない・状況に対応出来るか分からない・まだ幼いので1人で行動は不可・子供の為・幼児だから・7才とまだ小さいので自分で考え避難するのがむずかしい・多動と奇声がある為、避難所の利用は困難・避難所では生活できない、他者に迷惑をかけてしまう・トイレ、ベッド等、家の特別設備のでないと思えないため・いえにベットポータブルあり・外に出られなく、災害が起きた時は死を選ぶ、いつも死は考えている

38 家族が不在の場合やひとり暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(障害別)

○近所に助けてくれる人が「いる」と回答した者は約2割に過ぎない。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
いる	154	45	38	237	21.3%
いない	280	111	119	510	45.9%
わからない	198	45	46	289	26.0%
無回答	60	7	9	76	6.8%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

39 火事や地震等の災害時に困ることや不安なことは何ですか。＜複数回答＞（障害別）

○いずれの障害においても、「避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安」、「大勢の人の中で避難所生活をするに不安がある」が多くなっている。
 ○障害別にみると、身体障害者は、「安全なところまで迅速に避難することができない」、知的障害者は、「被害状況、避難場所などの情報が入手できない」、「助けを求めるのが難しい」、精神障害者は、「周囲の人が、あなたが介助・支援を必要であることを知らない又は気づいていない」、「周囲とコミュニケーションが取れない」が多くなっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
被害状況、避難場所などの情報が入手できない	153	105	58	316	10.6%
助けを求めるのがむずかしい	162	115	65	342	11.5%
介助してくれる方がいない	94	40	29	163	5.5%
周囲の人が、あなたが介助・支援を必要であることを知らない又は気づいていない	123	71	71	265	8.9%
周囲とコミュニケーションが取れない	70	103	71	244	8.2%
安全なところまで迅速に避難することができない	250	100	47	397	13.4%
避難場所の設備（トイレ等）や生活環境が不安	300	87	91	478	16.1%
大勢の人の中で避難所生活をするに不安がある	251	123	128	502	16.9%
病院に行けず、医療を受けられるかわからない	24	1	7	32	1.1%
投薬や治療を受けられない、福祉用具など必要なものが手に入らない	10	0	1	11	0.4%
特に思いつかない	91	15	18	124	4.2%
その他	12	0	3	15	0.5%
無回答	63	4	17	84	2.8%
合計	1,603	764	606	2,973	100.0%

「その他」の内容

・パニックになってしまう・災害時に、逃げるきりよくがない・長い距離を歩けないのが不安・施設入所しているので施設で対応して下さいます・施設なので指示に従う・介護施設に入所(2)・ショートステイ中なので対応が判らない・入院中

(18~64歳(R5.1.1現在)の場合に回答)

40 現在、あなたは仕事等をしていますか。(障害別)

○身体障害者、精神障害者は、「働いていない」、知的障害者は、「会社等の事務所で働いている(アルバイトやパートを含む)」が一番多くなっている。

n=508

	身体	療育	精神	合計	割合
会社等の事業所で働いている(アルバイトやパートも含む)	50	39	66	155	30.5%
福祉施設等を利用しながら給与や工賃を得ている	5	38	20	63	12.4%
自宅で内職等をしている	4	0	2	6	1.2%
自分で事業をしている(共同経営を含む)	5	0	1	6	1.2%
家業を手伝っている	2	1	2	5	1.0%
その他	4	7	4	15	3.0%
働いていない	58	26	91	175	34.4%
無回答	65	9	9	83	16.3%
合計	193	120	195	508	100.0%

「その他」の内容

・看護師 ・会社で作業 ・土木 ・一般企業社員として完全在宅勤務 ・福祉事業所手伝い ・福祉施設へ行ってるが工賃なし ・休職中(2) ・生活介護事業所に通所 ・家事手伝い(2) ・料理、そうじ、にわそうじ、ペットのせわ ・令和5年3月高校卒業 ・学生

(18~64歳(R5.1.1現在)の場合に回答)

40 現在、あなたは仕事等をしていますか。(障害支援区分別)

○4割強の方が、会社等の事業所または福祉施設で給与や工賃を得ている。

n=508

	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5	区分6
会社等の事業所で働いている(アルバイトやパートも含む)	0	5	6	0	0	0
福祉施設等を利用しながら給与や工賃を得ている	0	5	8	11	5	5
自宅で内職等をしている	0	0	0	0	0	0
自分で事業をしている(共同経営を含む)	0	0	0	0	0	0
家業を手伝っている	0	0	0	0	0	0
その他	0	0	0	0	1	1
働いていない	3	5	2	3	3	5
無回答	2	1	2	2	0	2
合計	5	16	18	16	9	13

	受けていない	無回答	合計	割合
会社等の事業所で働いている(アルバイトやパートも含む)	132	12	155	30.5%
福祉施設等を利用しながら給与や工賃を得ている	19	10	63	12.4%
自宅で内職等をしている	5	1	6	1.2%
自分で事業をしている(共同経営を含む)	5	1	6	1.2%
家業を手伝っている	4	1	5	1.0%
その他	13	0	15	3.0%
働いていない	125	29	175	34.4%
無回答	67	7	83	16.3%
合計	370	61	508	100.0%

(問40で「7. 働いていない」と答えた場合に回答)

41 現在、働いていない理由は何ですか。<複数回答>(障害別)

○いずれの障害においても、「働くのは難しいと感じている」が一番多くなっている。

n=199

	身体	療育	精神	合計	割合
病気・障害などの治療・訓練中	32	2	53	87	32.7%
入所施設で暮らしている	4	3	2	9	3.4%
家事や子育てをしている	5	0	9	14	5.3%
就学前または就学中	2	3	2	7	2.6%
働くのはむずかしいと感じている	44	17	56	117	44.0%
その他	10	4	11	25	9.4%
無回答	5	1	1	7	2.6%
合計	102	30	134	266	100.0%

「その他」の内容

・入院中 ・自宅療養中 ・医師の指示(2) ・病気が進行中の為、働けない。また、次から次と病気が見つかる等、とても苦しい。死んで楽になりたい ・年齢の為 ・家族の介護 ・義父母と同居していた為 ・孫の世話 ・求職しても職に就けない(2) ・新しい環境が不安 ・体調面、勤務条件、適正、人間関係などの心配 ・できることによりかなり制限があるし、移動手段がない ・明朗アカデミー佐倉キャンパスに通っている ・働く時間がない(日中3時間位) ・通所施設に行っているが賃金は得ていない ・失業中 ・自己都合のため退職 ・年金生活 ・子育て等を終えたため

(18~64歳(R5.1.1現在)の場合に回答)

42 障害のある方が働くためには、どのようなことが必要だと思いますか。<特にあてはまる3つ>(障害別)

○いずれの障害においても、「職場の障害者理解」が多くなっている。
 ○障害別にみると、身体障害者、精神障害者は「勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること」、知的障害者は「職場で介助や援助がうけられること」、が多くなっている。

n=573

	身体	療育	精神	合計	割合
通勤手段の確保	72	47	45	164	11.6%
勤務場所におけるバリアフリー等の配慮	36	8	5	49	3.5%
短時間勤務など勤務日数等の配慮	49	26	89	164	11.6%
勤務時間や日数が体調に合わせて変更できること	74	35	101	210	14.8%
在宅勤務の拡充	35	6	31	72	5.1%
職場の障害者理解	71	86	105	262	18.5%
職場で介助や援助がうけられること	29	51	22	102	7.2%
具合が悪くなった時に気軽に通院できること	45	5	39	89	6.3%
就労後のフォローなど職場と支援機関の連携	16	46	35	97	6.8%
企業ニーズに合った就労訓練	7	13	8	28	2.0%
職場外での相談対応、支援	9	15	31	55	3.9%
その他	7	1	4	12	0.8%
無回答	79	16	19	114	8.0%
合計	529	355	534	1,418	100.0%

「その他」の内容

・自動車運転免許 ・フレックスタイムを導入し、通院に費す時間をとりもどす ・人間関係 ・仕事ができるようになるまで見届けてくれる環境 ・普通とは言わないまでもある程度の収入がほしい ・その人のレベルにあった仕事を見つける ・障害に合った職の紹介 ・避難が必要になった時のシュミレーションを雇う際に必ず行う様指導させる ・健康的不安 ・年齢

43 あなたは過去1年以内に、次のようなことをしましたか。＜複数回答＞（年齢別）

- いずれの年齢別においても、「買い物」が一番多くなっている。
 ○「70歳代」以上は、他の年齢と比較して、「特に何もしていない」の割合が増えている。

n=1112

	18歳以下	18~20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
スポーツやレクリエーション	55	13	13	21	17	30
旅行	58	25	24	29	32	38
買い物	88	56	63	81	86	93
ボランティア活動	1	2	3	4	5	6
障害者団体の活動	8	10	4	5	6	2
趣味などのサークル活動	9	12	11	10	9	12
講座や講演会などへの参加	1	3	0	4	3	10
地域の行事やお祭りへの参加	27	7	10	11	7	10
その他	3	1	3	8	2	3
特に何もしていない	12	8	17	15	24	29
無回答	5	0	1	5	1	8
合計	267	137	149	193	192	241

	70歳代	80歳以上	無回答	合計	割合
スポーツやレクリエーション	44	20	1	214	10.5%
旅行	83	33	2	324	15.9%
買い物	183	112	4	766	37.6%
ボランティア活動	16	5	2	44	2.2%
障害者団体の活動	5	5	0	45	2.2%
趣味などのサークル活動	40	43	1	147	7.2%
講座や講演会などへの参加	23	17	1	62	3.0%
地域の行事やお祭りへの参加	21	10	1	104	5.1%
その他	13	13	0	46	2.3%
特に何もしていない	57	63	1	226	11.1%
無回答	19	22	0	61	3.0%
合計	504	343	13	2,039	100.0%

「その他」の内容

・帰省(2)・看護師によるボランティア活動・映画(3)・コンサート(3)・家族と動物園などテーマパークへ行く・ドライブ(2)・博物館・美術館・カラオケ・将棋二段免除取得・楽器教室・自治会役員(3)・作詞・手芸(2)・家庭菜園(3)・孫と遊ぶ・趣味(2)・散歩(4)・外出日光浴・外食(4)・病院通い・就労移行訓練・デイサービス週2参加・小学校行事の参加・子供の園行事・孫の学童保育所へ迎え等・葬式(2)・コロナ禍は特異な環境・アルバイト、作業・趣味はあるが一人でやる・できない・買い物は生きるための最低限のものだけ。問にあるような、楽しいことは一切ない・したくてもできる身体状態ではない

43 あなたは過去1年以内に、次のようなことをしましたか。＜複数回答＞（障害別）

- いずれの障害においても、「買い物」が一番多くなっている。
 ○次いで、「旅行」が多くなっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
スポーツやレクリエーション	108	78	28	214	10.5%
旅行	199	81	44	324	15.9%
買い物	453	157	156	766	37.6%
ボランティア活動	31	5	8	44	2.2%
障害者団体の活動	15	24	6	45	2.2%
趣味などのサークル活動	103	20	24	147	7.2%
講座や講演会などへの参加	53	4	5	62	3.0%
地域の行事やお祭りへの参加	51	36	17	104	5.1%
その他	27	7	12	46	2.3%
特に何もしていない	153	32	41	226	11.1%
無回答	48	4	9	61	3.0%
合計	1,241	448	350	2,039	100.0%

44 障害のある人が地域や社会に積極的に参加していくためには、
 どのようなことが大切だと考えますか。〈特にあてはまる3つ〉(年齢別)

○全体でみると、「障害があっても参加しやすい活動やイベントの充実」が一番多くなっている。
 ○年齢別にみると、「18歳以下」～「60歳代」は「障害者への理解を深めるための啓発や教育の充実」、「70歳代」は「障害者自身の積極性」、「80歳代」は「バリアフリー化などによる施設の整備、改善」が多くなっている。

n=1112

	18歳以下	18~20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
バリアフリー化などによる施設の整備、改善	20	13	26	32	30	46
公共交通機関のバリアフリー化や道路の整備、改善	21	9	20	26	41	50
障害者への理解を深めるための啓発や教育の充実	73	42	49	57	57	49
参加を支援するボランティアなどの育成、充実	35	23	25	20	31	32
障害があっても参加しやすい活動やイベントの充実	72	43	49	61	62	69
家族の積極性	27	17	9	20	13	14
障害者自身の積極性	29	22	33	46	48	55
その他	4	4	1	9	3	5
無回答	9	5	5	11	7	16
合計	290	178	217	282	292	336

	70歳代	80歳以上	無回答	合計	割合
バリアフリー化などによる施設の整備、改善	92	85	1	345	12.7%
公共交通機関のバリアフリー化や道路の整備、改善	93	73	3	336	12.3%
障害者への理解を深めるための啓発や教育の充実	63	52	2	444	16.3%
参加を支援するボランティアなどの育成、充実	50	33	0	249	9.1%
障害があっても参加しやすい活動やイベントの充実	106	72	4	538	19.8%
家族の積極性	39	21	1	161	5.9%
障害者自身の積極性	118	84	3	438	16.1%
その他	7	7	0	40	1.5%
無回答	61	58	0	172	6.3%
合計	629	485	14	2,723	100.0%

「その他」の内容

・交通手段・交通機関の便利性・移動手段(タクシーの無料化)・車の保有がないと参加できない(免許返納した)・社会の理解。差別、偏見の撤廃・差別と偏見(特に偏見が佐倉市は強い。此れだけは言っておきたい!)・地域の住民が障害者への理解を深めること・身近に障害のある人がいることを知る・いろいろな種類の障害が有ることの社会の周知がたりない・本人が望む生活がどのような形であるのか、定型発達の人達の日線からではない価値観が受け入れられると良い。本当の多様性の受容を願うばかり・障害者という枠をもう少しラフに考えて欲しい・周りが障害を気にしすぎないで関わられる事。良い人間関係・必要性の理解・参加しやすい活動やイベントの情報提供・できなくても大丈夫なスポーツの場があってほしい。運動の機会を得たい・障害がある人に対する支援・介助・情報を集めて連れて行ってくれる施設やグループホームの職員の積極性・金銭面の安定・入院の補助、高額な差額ベッド代の助成・公的支援の積極性・役所、協議会など対応がとても遅い。今すぐにも必要なことでも動いてくれなかった・民間やボランティアではない行政による職や活動の紹介・障がい者自身の積極性は当然必要であるが、病院でリハビリ受けても期間が来たから退院ですは何を優先して判断しているのか・夫婦高齢になると思いはあるが難しい・よく横になってる。すぐ疲れるから・90歳と高齢である上に足が不自由なので参加は無理・ルールにとられない自由さ・新型コロナ解決

44 障害のある人が地域や社会に積極的に参加していくためには、
どのようなことが大切だと考えますか。<特にあてはまる3つ> (障害別)

○身体障害者は「障害者自身の積極性」、知的障害者、精神障害者は「障害があっても参加しやすい活動やイベントの充実」が一番多くなっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
バリアフリー化などによる施設の整備、改善	268	33	44	345	12.7%
公共交通機関のバリアフリー化や道路の整備、改善	259	33	44	336	12.3%
障害者への理解を深めるための啓発や教育の充実	188	138	118	444	16.3%
参加を支援するボランティアなどの育成、充実	113	88	48	249	9.1%
障害があっても参加しやすい活動やイベントの充実	279	139	120	538	19.8%
家族の積極性	94	40	27	161	5.9%
障害者自身の積極性	297	50	91	438	16.1%
その他	19	9	12	40	1.5%
無回答	134	18	20	172	6.3%
合計	1,651	548	524	2,723	100.0%

(小学校就学前の方への質問)

45 おもにどこに通園していますか。(障害別)

○身体障害者、知的障害者は「児童発達支援」が一番多くなっている。

n=19

	身体	療育	精神	合計	割合
1. 保育所	1	1	0	2	10.5%
2. 幼稚園	1	2	0	3	15.8%
3. 認定こども園	0	2	0	2	10.5%
3. 認可外保育施設	0	0	0	0	0.0%
5. 児童発達支援	4	4	0	8	42.1%
6. 特別支援学校幼稚部	1	0	0	1	5.3%
7. 在宅	1	0	0	1	5.3%
8. その他	1	1	0	2	10.5%
合計	9	10	0	19	100.0%

「その他」の内容

・保育園と児童発達支援施設併用

(小学校就学前の方への質問)

46 療育について、どのようなことで困っていますか。＜複数回答＞(障害別)

○身体障害者、知的障害者は「療育に関する情報が少ない」、「小学校の学校(学級)選択に不安がある」が多くなっている。

n=21

	身体	療育	精神	合計	割合
療育に関する情報が少ない	4	7	0	11	18.0%
希望する保育園、幼稚園等に入れない	2	2	0	4	6.6%
施設での療育・訓練の機会が少ない	4	3	0	7	11.5%
利用しているサービスの内容に不安がある	0	1	0	1	1.6%
友達との関係づくりがうまくできない	1	2	0	3	4.9%
通園・通所の負担が大きい	3	5	0	8	13.1%
経済的負担が大きい	3	5	0	8	13.1%
小学校の学校(学級)選択に不安がある	4	8	0	12	19.7%
医療的ケアの実施体制が整っていない	3	0	0	3	4.9%
特に困っていない	0	1	0	1	1.6%
その他	2	1	0	3	4.9%
合計	26	35	0	61	100.0%

「その他」の内容

・療育の種目を増やしたい・預かり時間が短い・上の子が小学校低学年になる時に、下の子を特別支援学校幼稚部に入れたいが母子通園となるため、点数が足りなくて学童保育所に入れそうになり。そのため、下の子が特別支援学校幼稚部に行けない

(小学校就学後在学中の方への質問)

47 おもにどこに通学していますか。(障害別)

○知的障害者は、全体のうち約4割が「特別支援学校」、約5割が「特別支援学級」に通学している。

n=73

	身体	療育	精神	合計	割合
小学校(普通学級)	0	2	1	3	4.1%
小学校(特別支援学級)	3	25	0	28	38.4%
特別支援学校の小学部	0	10	0	10	13.7%
中学校(普通学級)	1	0	0	1	1.4%
中学校(特別支援学級)	1	7	0	8	11.0%
特別支援学校の中学部	2	5	0	7	9.6%
高等学校	1	1	1	3	4.1%
特別支援学校の高等部	1	11	0	12	16.4%
大学・短大・専門学校	0	0	0	0	0.0%
その他の学校	0	1	0	1	1.4%
合計	9	62	2	73	100.0%

「その他」の内容

・キリスト教会が運営する無認可のインクルーシブ少人数学校の小学部

(小学校就学後在学中の方への質問)

48 教育・療育について、どのようなことで困っていますか。＜複数回答＞(障害別)

○身体障害者、知的障害者は「卒業後の進路に不安がある」が一番多くなっている。

n=74

	身体	療育	精神	合計	割合
教育・療育に関する情報が少ない	1	28	1	30	16.9%
学校での介助が大変である	1	8	0	9	5.1%
教職員の指導・支援の仕方に不安がある	4	23	2	29	16.4%
学校のカリキュラムが本人に合わない	1	14	2	17	9.6%
友達との関係づくりがうまくできない	5	8	0	13	7.3%
通園・通所の負担が大きい	1	16	0	17	9.6%
経済的負担が大きい	2	5	0	7	4.0%
卒業後の進路に不安がある	4	31	1	36	20.3%
医療的ケアの実施体制が整っていない	0	8	0	8	4.5%
特に困っていない	3	6	0	9	5.1%
その他	0	2	0	2	1.1%
合計	22	149	6	177	100.0%

「その他」の内容

・支援学校は9時～14時半という短い時間で12年間通うので、介助者の仕事はデイサービスに毎日通えるかどうかで収入が左右される。その上、体の弱い障害児はすぐに体調を崩すので介助者の仕事に支障をきたす・脱走するなど重度の障害がある子を持つ家族が安心して利用できる短期入所施設が近隣に1つもありません。本当に困っています

(小学校就学後在学中の方への質問)

49 幼稚園、保育所等や学校などに望むことは、何ですか。<複数回答>(障害別)

○知的障害者は「就学や進路などの相談体制の充実してほしい」、「子どもの能力や障害の状態に適した細かな指導してほしい」、「障害についての理解を教員や保育士に深めてほしい」が多くなっている。

n=73

	身体	療育	精神	合計	割合
就学や進路などの相談体制を充実してほしい	4	44	2	50	22.6%
障害についての理解を教員や保育士に深めてほしい	6	35	2	43	19.5%
施設、設備、教材を充実してほしい	2	19	2	23	10.4%
子どもの能力や障害の状態に適したきめ細かな指導してほしい	4	36	4	44	19.9%
通常の学級への受け入れを進めてほしい	3	7	0	10	4.5%
まわりの子どもたちが障害への理解を深めるような交流機会を増やしてほしい	2	30	1	33	14.9%
医療的なケア(吸引・経管栄養・導尿等)が受けられるようにしてほしい	1	4	0	5	2.3%
その他	0	4	0	4	1.8%
特に希望することはない	2	7	0	9	4.1%
合計	24	186	11	221	100.0%

「その他」の内容

・特別支援教育を受けたくて就学相談等準備をして支援級を選択したのに通っている意味が分からなくなるときがある。先生や学校によって当たり外れが大きすぎる。不登校になった場合の選択肢が通常級の子供より少ない ・障がい児、健常児と区別することなく一緒に学ぶ環境。「みんな違ってみんないい」という共通認識 ・仕事に就いていなくて保育所に通えるようにしてほしい ・ファミリーサポートのサービスを中学生にまで拡大して欲しい。夜勤をしているので、朝の送りをしてもらえたら、夜勤できるので

(小学校就学後在学中の方への質問)

50 今後、どのような進路を希望しますか。<特にあてはまる3つ>(障害別)

○身体障害者、精神障害者は「大学や専門学校等へ進学したい」、知的障害者は「自立に向けた訓練ができる施設へ通いたい」が一番多くなっている。

n=79

	身体	療育	精神	合計	割合
企業等で一般就労したい	4	14	1	19	9.5%
障害者の雇用が多い事業所で働きたい	3	25	0	28	14.1%
職員等の指導員の支援を受けながら働くことのできる事業所で働きたい	3	27	2	32	16.1%
一般就労に向けた支援を受けられる施設へ通いたい	2	10	1	13	6.5%
一般就労はむずかしいのでレクリエーションや創作活動等をする施設へ通いたい	1	18	0	19	9.5%
身体機能の訓練ができる施設へ通いたい	1	1	0	2	1.0%
自立に向けた訓練ができる施設へ通いたい	1	34	1	36	18.1%
職業訓練校へ通いたい	0	7	1	8	4.0%
大学や専門学校等へ進学したい	5	7	3	15	7.5%
自宅でできる仕事をしたい	1	6	1	8	4.0%
就労等の希望はない	0	0	0	0	0.0%
施設などへ入所したい	0	2	0	2	1.0%
その他	1	5	0	6	3.0%
わからない	1	9	1	11	5.5%
合計	23	165	11	199	100.0%

「その他」の内容

・一般企業等の障害者採用枠 ・高校卒業後、働くのは難しすぎる。知的障害者が学ぶ大学や専門学校を増やしてほしい ・知的障害者は就労継続支援入所の待機もあるのが現状なので、就労継続支援施設を増やして欲しい ・日中、外で活動し、帰宅して過ごす、というリズムが学校同様に送れたら、本人の時間のルーティーンも大きく ・好きなスポーツを続けたい

51 あなたは、日頃、差別や偏見、疎外感を感じることはありませんか。(障害別)

○「よく感じる」、「ときどき感じる」が、身体障害者は約3割であるのに対し、知的障害者、精神障害者は約7割となっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
よく感じる	29	37	46	112	10.1%
ときどき感じる	150	106	92	348	31.3%
ほとんど感じた事はない	219	35	43	297	26.7%
まったく感じた事はない	191	20	15	226	20.3%
無回答	103	10	16	129	11.6%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

51 あなたは、日頃、差別や偏見、疎外感を感じることはありませんか。(年齢別)

○「18歳以下」～「50歳代」は「ときどき感じる」が一番多くなっているが、「60歳代」以上は「ほとんど感じたことはない」が一番多くなっている。

n=1112

	18歳以下	18~20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
よく感じる	17	12	19	27	18	10
ときどき感じる	60	38	34	49	46	31
ほとんど感じた事はない	17	10	19	20	27	44
まったく感じた事はない	12	5	11	6	12	35
無回答	4	3	2	8	8	11
合計	110	68	85	110	111	131

	70歳代	80歳以上	無回答	合計	割合
よく感じる	5	4	0	112	10.1%
ときどき感じる	51	36	3	348	31.3%
ほとんど感じた事はない	91	67	2	297	26.7%
まったく感じた事はない	83	62	0	226	20.3%
無回答	41	52	0	129	11.6%
合計	271	221	5	1,112	100.0%

52 あなたは、どのような時に差別や偏見、疎外感を感じましたか。＜複数回答＞（障害別）

○身体障害者は「交通機関の利用時」、知的障害者は「コミュニケーションや情報の収集」、精神障害者は「仕事や収入面」が一番多くなっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
学校やPTAなど教育の場	24	47	17	88	5.7%
仕事や収入面	62	45	97	204	13.3%
コミュニケーションや情報の収集	46	48	56	150	9.8%
スポーツ・趣味の活動	41	17	15	73	4.8%
家庭内	29	7	52	88	5.7%
近隣とのつきあい	52	46	54	152	9.9%
自治会や地区の行事などの集まり	31	26	11	68	4.4%
スーパーや飲食店などでの接客、応対	52	41	16	109	7.1%
交通機関の利用時	118	41	34	193	12.6%
市役所等公共施設の利用時	17	10	13	40	2.6%
障害者施設や障害福祉サービス事業所	22	9	18	49	3.2%
その他	21	19	16	56	3.6%
無回答	217	26	23	266	17.3%
合計	732	382	422	1,536	100.0%

「その他」の内容

・気軽に外出が出来ない 水が大好きだが連れていけるプールがない ・親せき内 ・家族の会話 ・子供のころ親や友にされていた。 ・知的障害児がいるということだけで民間の賃貸はかなりの数で入居を断られた ・家を借りようとした時 ・公園、スーパーなど日常的な場所でも感じます。何か言われたりはないのですが周りの視線が痛い。たまに凝視してくる方、息子が近付くと嫌な顔で退散していく方などもいます ・店入口にあったスロープをはずされた ・交通のふべんによる生活不便 ・バス、手帳を見せた時の態度が悪い ・役所のしよるい関係のふくぎつさ ・勤務先（貴市） ・短期入所で安心して預けられる施設 ・職員がいない ・介護認定は、認知症には理解があるが、全盲者には厳しすぎる。日常生活に困っているのに、要介護Iでサービスの制限が多い ・すべての場所において ・政治家や国の対応 ・TV ・あきらめています ・視覚障害で視力もあり視野が狭いだけなので第三者にはわからない ・高IQアスペルガー症候群の為、一見普通に見えてしまうが実は色々困難な面も有る。変わり者と見られて終わる ・病院を選ぶとき ・かかりつけ病院以外の委員に通院する時。（生活保護受給中の為、申し訳なく感じ、その為に見先が気になってしまう。） ・病院（2） ・病院でパニックなど起こした時、特に感じます。疎外感というよりも、虚無感や孤独感のような。終わりが見えないので ・医療機関 ・映画館 ・ストーマを使っている、見た目では分からないのでトイレで一般の方に遅いと言われることがありました（オストミートイレで） ・外出時のトイレ利用時（導尿をしているため） ・障害者用のトイレが少ない ・子育て中 ・見た目決められる。等級で判断される。特に発達障害が判った今、生きづらさを感じる ・りかいしてほしいこんごも ・このようなアンケートが送られてくる時点で偏見、疎外感を感じる ・外出先での冷たい目 ・異性との出会い ・友人（3） ・障害の話をする相手がいけない事を聞いてしまったように黙る ・話しても理解されない ・今は外出時に同行あり ・自分で移動できないため ・自由に自力で外出することができない ・子供に声をかけてくる見知らぬ人々 ・部活 ・従前に比し、随分改善されました

53 あなたは、3年前と比べて、障害(者)に対する周囲の理解が進んでいると感じますか。(差別などをどの程度感じるか別)

○差別等を「よく感じる」、「ときどき感じる」と回答した者は、「進んでいると感じた事はほとんどない」が一番多くなっている。
 ○「ほとんど感じた事はない」と回答した者は、「進んでいると感じた事はほとんどない」と「ある程度進んでいると感じる」が同数になっている。

n=1112

	よく感じる	ときどき感じる	ほとんど感じた事はない	まったく感じた事はない
かなり進んでいると感じる	6	8	18	17
ある程度進んでいると感じる	16	77	81	69
進んでいるとたまに感じる	15	90	69	40
進んでいると感じた事はほとんどない	39	121	81	59
進んでいない	32	45	15	18
無回答	4	7	33	23
合計	112	348	297	226

	無回答	合計	割合
かなり進んでいると感じる	2	51	4.6%
ある程度進んでいると感じる	10	253	22.8%
進んでいるとたまに感じる	8	222	20.0%
進んでいると感じた事はほとんどない	8	308	27.7%
進んでいない	2	112	10.1%
無回答	99	166	14.9%
合計	129	1,112	100.0%

54 あなたはご自身の障害について特に周囲に理解してほしいと思うことはなんですか。(障害別)

○いずれの障害においても、「障害の特性について」、「必要な配慮や支援」が多くなっている。
 ○身体障害者は「特に理解してほしいことはない」が一番多くなっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
障害の特性について	174	94	95	363	32.6%
必要な配慮や支援	185	87	73	345	31.0%
その他	19	3	4	26	2.3%
特に理解してほしいことはない	216	7	18	241	21.7%
無回答	98	17	22	137	12.3%
合計	692	208	212	1,112	100.0%

「その他」の内容

・障がい特性ではなく、一人の人間として接して欲しい
 ・理解できないと考えている
 ・障害があっても、気持ちや心は皆と同じ
 ・自分の気持ちと相手の理解が違う
 ・息が上がっても変な目でみないでほしい。
 甲高い声で頭痛がするからやめてほしい
 ・何をこわいと思うのか
 ・健常者の一方的価値基準はあてはまらない
 ・音の出る信号設置
 ・車椅子マークの認知
 ・歩行時の段差
 ・パソコン、スマホの使用支援
 ・外見は障害者に見えないので障害者スペースを使用するのを遠慮してしまう
 ・内部障害は一見わかりにくい
 ・視力が無くなってみないとわからない
 ・ペースメーカー埋込場所を気をつけてもらっている
 ・薬の副作用
 ・医療費入院費の補助、差額ベッド代の助成
 ・年月が過ぎてもう気にしない
 ・リハビリに頑張ったので現在は普通の生活ができています
 ・デイサービスと自宅の訪問リハのため良好

55 障害のある人にとって暮らしやすいまちづくりのためには、特にどのようなことが必要だと考えますか。<特にあてはまる3つ> (障害別)

○いずれの障害においても、「いつでも気軽に相談できる相談窓口の充実」が多くなっている。
○身体障害者は「障害のある人が利用しやすい移動手段の充実」、知的障害者、精神障害者は「就労の場の充実」が多くなっている。

n=1112

	身体	療育	精神	合計	割合
重度の障害がある人に対応した入所施設の充実	108	27	17	152	5.2%
グループホームなどの生活の場の充実	39	66	28	133	4.6%
いつでも気軽に相談できる相談窓口の充実	247	75	103	425	14.6%
必要な情報が入手しやすく、円滑な意思疎通ができるための施策の充実	128	43	38	209	7.2%
公共施設や公共交通などのバリアフリー化	119	4	9	132	4.5%
障害のある人が利用しやすい移動手段の充実	216	25	29	270	9.3%
就労の場の充実	68	81	104	253	8.7%
障害のある人が参加しやすいスポーツ・サークル・文化活動の充実	53	37	12	102	3.5%
地震など災害時の支援体制の整備	192	54	42	288	9.9%
訪問医療・看護などの在宅支援サービスの充実	157	17	21	195	6.7%
療育・生活訓練・職業訓練などの通所支援サービスの充実	28	41	23	92	3.2%
夜間や緊急時における医療機関との連携	170	16	29	215	7.4%
障害についての理解が促進し、差別的扱いや偏見をなくすための教育や広報活動の充実	84	74	64	222	7.6%
様々なボランティア活動の育成	26	12	7	45	1.5%
その他	19	3	8	30	1.0%
特になし	34	6	7	47	1.6%
無回答	75	7	19	101	3.5%
合計	1,763	588	560	2,911	100.0%

「その他」の内容

・タクシーの利用の場合の半額わりびき、役所がかわりに役所手続きをおこなう部署 ・おとのでるしんごうきほしい ・精神障害の人も京成線の割引を適用してほしい ・雨等、天候や道路、に左右されない乗り物の開発 ・障がい者の子育て支援の場 ・障害者が外出できるような催事やボランティア作業 ・インクルーシブな活動、設備がふえてくると、周りも自然と受け入れてくれやすい(実感としてある) ・災害時の食事の質・内容 ペースメーカー挿入を腎不全の為 ・病院受診もできるだけ、1度で済むように現在は科ごとに曜日別で通う等、仕事をするにも休みが多くなり就業しにくくなる原因の1つになっていると思う ・障害者利用の歯科医院の紹介所、特に口腔外科 ・コミュニケーション ・家族親族の理解 ・グレーゾーンの人への配慮 ・社会的偏見を改善してほしい ・若いお母さんが子供を守る気持ちはわかるが、かなりの偏見を受けている。障害を持つ者に知識不足 ・多様性の理解の拡大 ・障害者への理解向上のための施策 ・施設に入ることを「捨てられる」と言う気持ちにさせない施設の雰囲気作り、環境に期待したい ・障害年金の受けやすさ ・金銭的負担の減 ・障害者自身へのリソース配布。障害年金など。周りの人がそれを使って障害者自身を助けてくれる事もある ・施設などの料金設定を見返してほしい ・入院費の補助、差額ベッド代の助成 ・多目的トイレの増設 ・歩行困難者への援助 ・静かに見守って欲しい